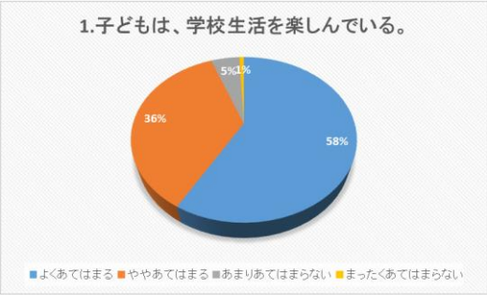
令和４年度　畑田小学校　学校教育自己診断の結果について

令和４年　12月　21日　　茨木市立畑田小学校　校長　楓井　俊男

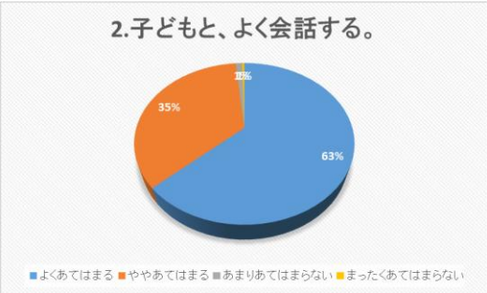
本年度も学校教育自己診断にご協力いただきましてありがとうございました。12月上旬にFormsにてアンケートを行いました。皆様にはたくさんのご協力いただきまして感謝申し上げます。

皆様から頂きましたご意見をもとに、教職員全体で受け止め、今後の教育活動の参考にさせていただきます。今後とも、畑田小学校に対する変わらぬご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

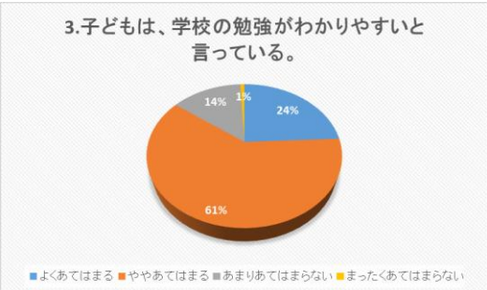


多くの児童は学校を楽しいと思っているようです。

今後も日々の授業や特別活動等でコロナ禍でも楽しいと思える学校づくりをしていきたいと考えます。

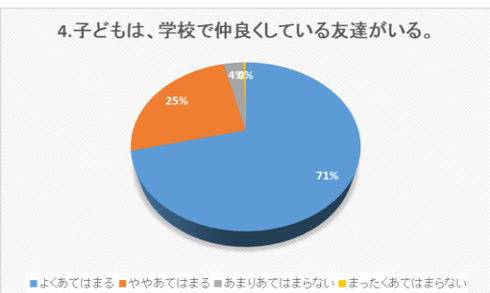


会話は多いようです。ぜひ動画視聴、ゲームから目を離し、いろんな話をしてみてください。

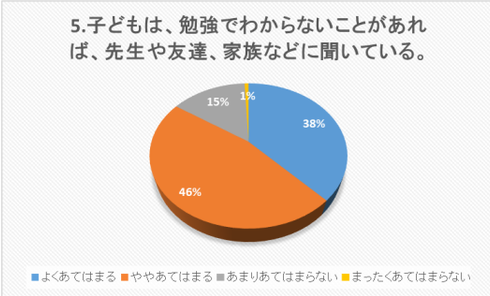


おおむねわかりやすいという回答でした。

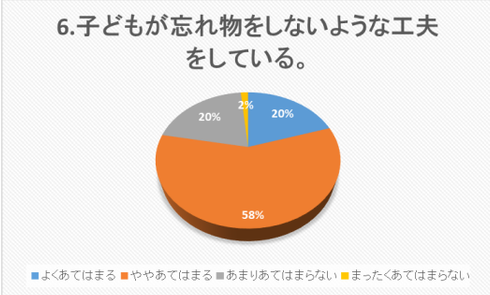
しかし、１５％の子がわかりにくいということから、授業改善の必要性、スクールサポーターとの連携、タブレットの効果的な使い方を改善していきます。



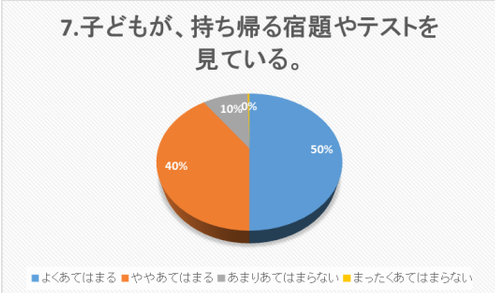
友達があまりいないという児童もいます。たくさんの友達を作るというより、心地のいい居場所を作ることが大切だと考えます。授業を通して、クラスメイトのつながりを作っていきます。



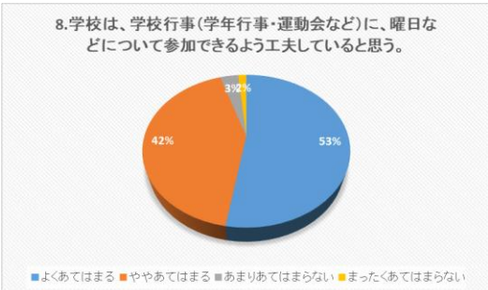
勉強でわからないことをそのままにしている児童が一定数いることが課題だと考えます。普段の授業やテストから子どもの状態を見取るため、担任だけではなく専科担任、スクールサポーターとも連携を密にしていき、「一人も見捨てへん教育」を目指していきます。



学校に行く直前に準備をしていては、忘れ物は減りません。寝る前までには連絡帳やプリントを見て、明日の準備をしてから寝る、というサイクルを作ることが大切です。学校でも定期的に声掛けをして、啓発していきます。

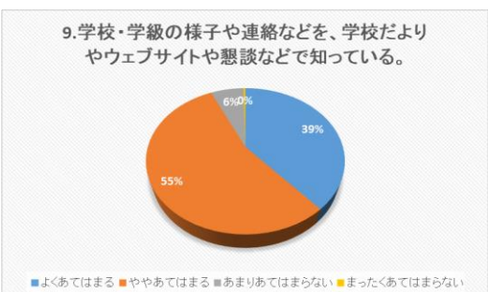


いつも宿題やテストのチェックをしていただき、ありがとうございます。「今日は何を勉強したの？」「この単元、よくわかっていてえらいね。」など、ちょっとした言葉かけが子どもたちのやる気を引き出します。

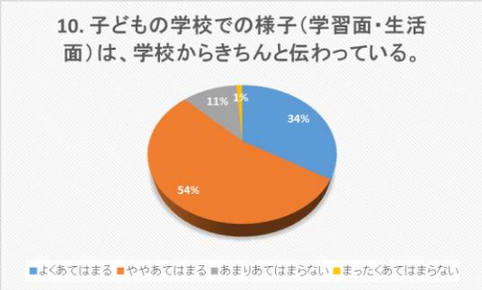


学校行事には多数の保護者の皆様に参加していただき、ありがとうございます。

今後も実施方法を工夫したり、できるだけ多くの方に参加していただける日を選ぶなど、参加しやすい学校行事を考えていきたいと思います。

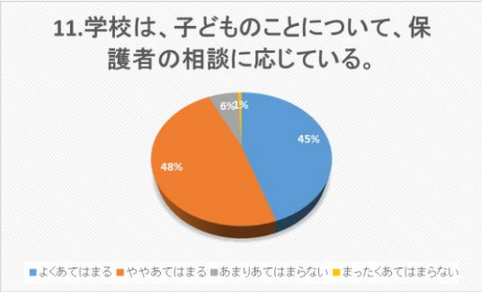


肯定的にとらえていただく回答が多くありました。今後もコロナ対策や暑さ対策、行事への対応がスムーズに行えるよう、タイムリーでわかりやすいお知らせを心がけていきます。

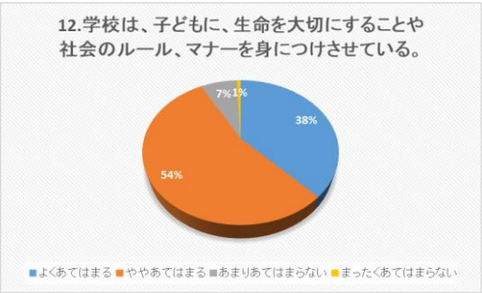


肯定的にとらえていただく回答が多くありました。

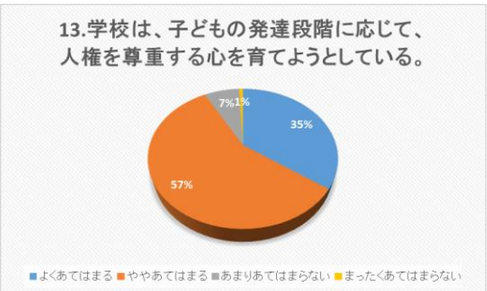
今後もウェブサイトや学校だより、学年だよりなどでの発信を続けてまいります。

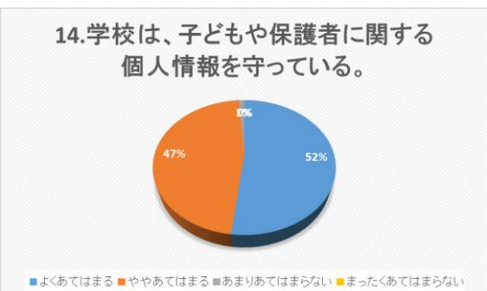


コロナ禍での制限のかかった生活をするにおいて、不安を抱える子どもたちもいます。不安なこと、わからないことなどがありましたら、いつでも学校までご相談ください。

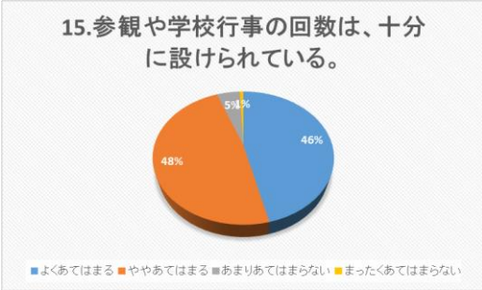


道徳教育、人権教育をしっかりと行うことで、教職員と子どもたちと一体となって考えています。ご家庭でも、今日は学校でどんなことを学んだか、を聞いていただきたく思います。ご家庭、学校ともに一緒になって子どもたちを育てていきたいと思っています。



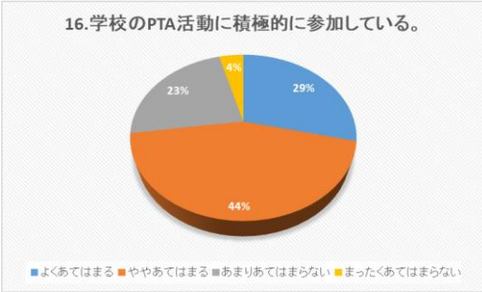


なお一層、個人情報の保護に努めて参ります。



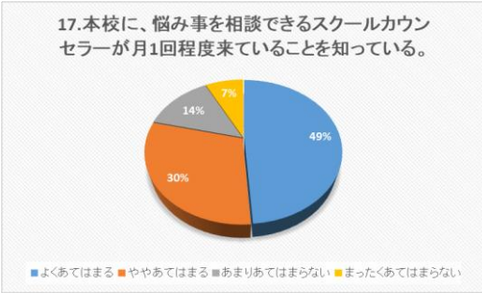
今年度はオープンスクール、土曜参観も行い、たくさんの保護者の皆様にご参観いただくことができました。また、連合音楽会・連合運動会など、他校との交流も復活してきました。

今後もコロナ禍に対応したあり方や時期を検討していきたいと思います。



PTA 行事におきまして、コロナ禍できることとしまして、畑田アート展を開催していただき、多数の方に参加していただきました。

また、運動会にはたくさんの役員の方々にご尽力いただき、成功することができました。ありがとうございました。



年度はじめの学年だよりや、月々の学年だよりではお知らせしております。ぜひご活用ください。